

令和7(2025)年度普及指導活動成果集

「成長産業として持続的に発展する農業・栃木」の実現に向けて



令和8(2026)年3月
栃木県農政部経営技術課

本県農業は、農業者の高い技術力、広大な農地と大消費地に近い立地条件等の優位性を活かし、米麦・畜産・園芸がバランス良く発展してきました。しかし近年、農業を取り巻く情勢は厳しさを増しており、高齢化に伴う担い手の減少、気候変動に伴う農業災害の増加や異常気象による生産量・品質低下はもとより、農業資材高騰による生産コストの増加など、農業の発展に影響を与える新たな課題が増えつつあります。

一方で、農業・農村は、食料生産の最前線であると同時に、生物多様性の保全や景観形成、伝統文化継承の場であるなど、安全・安心で豊かな生活を維持する役割を果たしていることから、県民の関心は年々高まっています。

このため、県では、「とちぎ農業未来創生プラン」において「成長産業として持続的に発展する農業・林業」の実現を目指し、多くの若者が本県で就農して稼げる農業を展開し、若い力で地域の活性化に繋げるための施策を推進してまいりました。

本成果集では、新規就農者の確保・育成、新品種・新技術の導入、スマート農業を導入した経営体の育成やとちぎグリーン農業推進など、「普及指導員が直接農業者に接し、技術・経営指導を行った」代表的な事例を紹介しています。本県農業と農業者の経営発展を支えるための普及指導活動について、御理解の糸口となれば幸いです。

結びに、本県協同農業普及事業の推進に御協力をいただいた関係機関・団体の皆様、そして、厳しくも温かい目で私たちを見守っていただいた農業者の皆様に、心から感謝を申し上げます。

令和8(2026)年3月

栃木県農政部経営技術課長 大橋 隆